

公開シンポジウム：**世界の高大接続の現状と課題**

日本学術会議 心理学・教育学委員会 高大接続を考える分科会
教育関連学会連絡協議会

アメリカ高等教育におけるリベラル・アーツの再定位

—中等／高等教育接続の観点から—

松浦良充(慶應義塾大学)

アウトライン

- 0. シンポジウムの開催趣旨から
- 1. 「高大接続」の問題群
- 2. アメリカにおける「高大接続」の装置
- 3. アメリカにおける「高大接続」の動向
- 4. アメリカ教育史のなかの「高大接続」
- 5. 「リベラル・アーツ」の再定位と「高大接続」
- 6. 日本の「高大接続」改革の課題

0. シンポジウムの開催趣旨から

- 「後期中等教育から高等教育への進学者が少数であった時代においては、高大接続とは入学者選抜という一接点のみの問題であった。後期中等教育でどれだけの準備をして力をつけた学生を選抜するかが高大接続の焦点であった。しかしながら、高等教育とりわけ大学への進学率が上昇するにつれ、高大接続の課題は、**入学者選抜という一接点に加え、後期中等教育における教育内容と大学におけるそれとの関係、後期中等教育機関から大学へ移行する生徒・学生の学習状況など、面へと拡がり**を見せるようになった。

世界に先駆けて高等教育の拡大が進んだ**アメリカでは、この問題は1世紀にわたって論じられており**、近年、高等教育進学率が急増したヨーロッパでも、また、厳しい入学試験で知られる東アジアでも、高大接続が多面的に論じられるようになった。そこで、本シンポジウムでは、アメリカ、ヨーロッパ、東アジアにおける**高大接続の現状と課題を日本を念頭において相互に比較し**、日本における高大接続の在り方を考える上での示唆を得ることを目的とする。」

1. 「高大接続」の問題群

- 日本の「高大接続改革」はなぜ「失敗」したのか
 - 高等学校教育／入学者選抜／大学教育
 - やはりどうしても「入試」改革に焦点化
 - 一体(一貫)的改革における連続と非連続の観点
 - ⇒教育目的／教育内容／教育方法／教育制度のそれぞれの観点から議論が必要
- アーティキュレーションの問題領域(基本的原理・原則)(清水 2016)
 - 構造的側面、内容的側面、運営的側面
 - 「縦の接続」「横の接続」「斜めの接続」
 - ⇒多様な「接続」関係にどのような枠組みでアプローチするのか
- 教育システムを構造として捉えるのか、ネットワーク的な視点へ移行するのか
 - 「リニア」モデル(含・「リカレント」or「サーキュラー」モデル)
 - 「ネットワーク」モデル
 - 「拡散」モデル(or「カオス」モデル)

2. アメリカにおける「高大接続」の装置

- 入学者選抜の「装置」
 - 高校での履修科目(の指定)
 - **G**rade **P**oint **A**verage
 - **S**cholastic **A**ssessment **T**est / **A**merican **C**ollege **T**esting
 - エッセイ、学習・活動成果・記録、推薦状
 - Interview
- 高大連携・接続の「装置」
 - **A**dvanced **P**lacement
 - **I**nternational **B**accalaureate
 - 初年次教育、リメディアル教育
 - Transfer
 - **C**ollege-**L**evel **E**xamination **P**rogram

3. アメリカにおける「高大接続」の動向

- 最近の「入学者選抜」改革動向
 - テスト・スコアへの不信⇒高校での学習成果や大学入学後の学習能力との関係
 - Standardized Test (SAT or ACT)
 - GPA (高校の成績・履修科目)
 - 中等教育改革 (スタンダード政策) の影響
 - 中等教育資格 (ex. オレゴン州 CIM / CAM) (荒井・橋本 2005)
 - Standard改革 (内容理解から能力育成へ) (石井 2021)
- **P**roficiency-based / **C**ompetency-based **A**dmission **S**tandards **S**ystem [[資料1](#); [資料2](#)]
 - オレゴン州 (荒井・橋本 2005) [[資料3](#)=南オレゴン大学入学要件; [資料4](#)=最新の動向]
 - ニューイングランド諸州 [[資料5](#)]
 - ([Blauth and Hadjian 2016](#); [Stump & Solvernail 2014](#); [Stump et al. 2018](#))
- Test-Optional / Test-Blind / Admission [[資料6](#)]
 - University of California [[資料7](#)]
 - UChicago Empower Initiative (Test-Optional Admissions) [[資料8](#)]
- Common App / Coalition App

4. アメリカ教育史のなかの「高大接続」

- 「リベラル・アーツ」の学修は「高等教育」なのか⇒「接続」問題の端緒
 - 中等教育の発展(大衆化)・整備と「単位制」の導入
- Charles William Eliot(1834-1926)
 - 学士課程の自由選択制
 - *Cardinal Principles of Secondary Education.* (1918)
- Robert Maynard Hutchins(1899-1977)
 - 学士課程カレッジ入学・BA授与年齢の早期化
- James Bryant Conant(1893-1978)
 - *General Education in a Free Society.* (1945)
 - *The American High School Today: A First Report to Interested Citizens.* (1959)
- アメリカの大学における「リベラル・エデュケーション」基本構造の確立(20世紀)
 - General Education (Common Core) / Specialized Education (Major) / Electives

5. 「リベラル・アーツ」の再定位と「高大接続」

- 21世紀のリベラル・エデュケーション改革のキイ・ワード
 - 【社会】 グローバル化、ダイバーシティ、経済との関係、社会・職業的レリバンス
 - 【能力】 Generic Skills、Competency、Proficiency、Employability、Outcomes、学修者本位
 - 【技術革新】 DX化、ICT活用
- The Association of American Colleges and UniversitiesのInitiative
 - [Project Kaleidoscope](#) (PKAL): STEM, 1989
 - Liberal Education & America's Promise (LEAP), 2005
 - [Valid Assessment of Learning in Undergraduate Education](#) (VALUE): [Rubrics](#) , 2007
 - [Essential Learning Outcomes](#)
- *Redesigning Liberal Education: Innovative Design for a Twenty-First-Century Undergraduate Education.* (Moner, Motley and Pope-Ruark ed. 2020)
 - Problem-Focused / Experiential Liberal Arts / Civic Literacy / Design Thinking
 - “College Admissions as a Lever for Systemic Change in Liberal Education”

6. 日本の「高大接続」改革の課題

- 問われる「大学(教育)像」
 - 「大学入試が変われば、高等学校教育は変わる」のか
 - 「中等教育修了資格」をどのように考えるのか
 - 教育・学修「内容」、履修時間(単位)・在籍年数、「能力」(具体的学修成果として?、潜在的学習能力として?)
 - Proficiency-Basedへの移行は日本でも可能(ありうる)か
 - 主導するのは、高校? 大学?
 - 「選抜」から「選択」への転換はどのようにすれば可能になるのか?
 - 学士課程の「出口」と(職業)社会への「入口」のマッチングはどのようにすれば可能になるのか?
 - 汎用的なemployabilityなるものは実体化できるのか? («個別最適化」との関係)
 - 人材育成機関としての大学(像)の有効性を問い直す必要
- 制度改革に踏み込むのか
 - 中等／高等の機能別分化は?
 - 国民・市民としての「教養」形成をどこに定位するのか?
 - 社会との関係＝リカレントの「アドミッション」と「出口」は?
- 教育システムの「リニア」モデルの**限界**のなかで「接続」を考える必要がある!

文献

- 荒井克弘・橋本昭彦. 2005. 『高校と大学の接続——入試選抜から教育接続へ』(高等教育シリーズ 130) 玉川大学出版部.
- 石井英真. 2021. 『現代アメリカにおける学力形成論の展開——スタンダードに基づくカリキュラムの設計』(再増補版) 東信堂.
- 小川佳万・小野寺香. 2009. 『アメリカのアドバンスト・プレイスメント・プログラム——高大接続の現状と課題』(高等教育研究叢書 102) 広島大学高等教育研究開発センター.
- 小野寺香. 2010. 「アメリカにおける高大接続プログラムの比較研究——大学の単位認定に着目して」『東北大学大学院教育学研究科研究年報』59-1.
- 神原信幸. 2011. 「日本とアメリカの比較から高大連携の政策アプローチを再考する」『高等教育研究』11, 日本高等教育学会.
- 清水一彦. 1998. 『日米の大学単位制度の比較史的研究』風間書房.
- 清水一彦. 2016. 「教育における接続論と教育制度改革の原理」『教育学研究』83-4, 日本教育学会.
- 山田礼子. 2011. 「大学からみた高校との接続——教育接続の課題」『高等教育研究』11, 日本高等教育学会.
- 吉田文. 2011. 「大学と高校の接続の動向と課題」『高等教育研究』11, 日本高等教育学会.

文献

- Aoun, Joseph. 2017. *Robot-Proof: Higher Education in the Age of Artificial Intelligence*. Cambridge, MA: MIT Press.
- Association of American Colleges and Universities, The. 2015. *General Education Maps and Markers: Designing Meaningful Pathways to Student Achievement*, Washington, DC.
- Bass, Randy and Bret Eynon. 2016. *Open and Integrative: Designing Liberal Education for the New Digital Ecosystem*. Washington, DC: The Association of American Colleges and Universities.
- Blauth, Erika and Sarah Hadjian. 2016. “How Selective Colleges and Universities Evaluate Proficiency-Based High School Transcripts: Insights for Students and Schools.” (Policy Spotlight on New England) New England Board of Higher Education.
- Erbes, Stella, McKenna Wizner and Powlis Jackie. 2021. “Understanding the Role of Traditional & Proficiency-Based Grading Systems Upon Student Learning and College Admissions.” *Journal of Higher Education Theory and Practice*. 21-10.
- Gawaltney, Kevin D. 2020. *General Education Requirements: A Look at the Structure of Higher Education*. (Prepared for the Missouri General Assembly Joint Committee on Education) Jefferson City, MO.
- Moner, William, Phillip Motley, and Rebecca Pope-Ruark ed. 2020. *Redesigning Liberal Education: Innovative Design for a Twenty-First-Century Undergraduate Education*. Baltimore, MD: Johns Hopkins University Press.
- Stump, Erika K. and David L. Silvernail. 2014. *Implementation of a Proficiency-Based Diploma System: Early Experiences in Maine*. Maine Education Policy Research Institute. Gorham, Maine: Center for Education Policy, Applied Research, and Evaluation, The School of Education and Human Development, University of Southern Maine.
- Stump, Erika and Bernadette Doykos and Maria Rios Barache. 2018. *Proficiency-based High School Diploma Systems in Maine: Getting to Graduation*. (Supporting Students in High Schools Implementing Standard-based Education and Proficiency-based Graduation Requirements) Maine Education Policy Research Institute. Gotham, Maine: Center for Education Policy, Applied Research, and Evaluation, The School of Education and Human Development, University of Southern Maine.